

# 新潟西

ときわ会  
新潟西支部  
第54号  
令和6.7.19



「涼爽（寺尾中央公園）」  
新通小 清野 佳子（H12）

## 未来に向かって

支部長 小針小学校 荻野 真美（平成元年度）



人は、自分の経験を基に考え、判断することが多い。それが成功経験であればなおさら、経験に頼りがちになる。

自分のことを振り返ると、「以前は、こうだった。」「特に問題はなかったから同じでいい。」と安易に考えて、判断することがよくあったように思います。経験（特に成功経験）を基に判断の方が容易だし、安心だからです。

しかし、子どもたちの変容や子どもたちを取り巻く環境の変化は想像を超えた速さで進展しており、経験だけに頼っていても、未来を創る子どもたちを育成するという重要な責任を果たすことができない時代が到来していることを実感しています。

予測が難しいと言われる時代を生き、未来を創る子どもたちを育成することは容易ではありません。私たち自身が、社会の変化や今、求められる教育の動向を踏まえながら、子どもたちの資質・能力を確実に育成でき

るよう取組を進めていく必要があります。そのためには、経験に頼るのではなく、日々学び続け、自分自身をアップデートしていかなければいけないのだと思います。

子どもたちが未来を創る大切な存在であるとともに、私たちも、未来を創る重要な存在です。

令和6年度新潟西支部として、目指す会員の姿を「教職に携わることに喜びと誇りをもち、未来に向かって歩み続ける会員」と設定しました。教職に携わることの喜びや誇りは、人によって、経験年数や立場によって異なりますが、一人一人がもつ経験の上に、学びを積み重ね、力量を高めていけるよう、支部として取り組んでいきたいと考えています。そのことが、教職に携わる喜びや誇りにつながり、私たち一人一人の未来につながると考えるからです。

子どもたち、そして、私たち一人一人のため、新潟西支部会員全員で取り組んでいきましょう。